

令和4年度尾張旭市一般会計歳入歳出決算認定について

討論要旨 川村つよし議員

2022年度は、世界的にも大きな困難に直面した年だったことを特筆しておく必要があると思います。

世界的に猛威を振るった、新型コロナウイルスの影響とロシアが始めたウクライナ侵略の影響で、世界的な物価高騰を招き、燃料や食料品をはじめ、生活必需品の値上げが続きました。

物価高騰は、市民生活にも事業所の活動にも大きな影響を及ぼし、その対策として投じた費用は「新型コロナウイルス感染症及び物価高騰対策事業明細表」として、主要施策成果報告書にまとめられています。

これらの対策事業一覧を見て、改めて思うのは、エネルギー関連費用の大きさです。

予算編成時に「地球温暖化対策についての取組の弱さ」を指摘しました。地球温暖化は、尾張旭市だけでできるものではありませんが、地方自治体をはじめ、あらゆる事業所、そして個人も、小さな積み重ねで対策を講じて行く必要があると思いますし、特に行政組織は、このまま温暖化が進行すると、新たな行政需要が生じることにつながるのには容易に想像できます。地球温暖化対策の優先度を上げるべきです。当初予算と同様に、決算認定においても地球温暖化対策にもっと力を入れるべきだと、反対理由の一つにあげておきます。

もう一つの問題点として、三郷駅周辺まちづくり事業については、批判を加えておきます。この事業については、議会基本条例第11条における、財源措置や将来にわたる費用及び効果についての説明が、不足しているように思います。本当に進めてよいのか、よかったのかという疑念が続きますし、物価高騰で不安も増しました。

今後も言い続けることで、市に慎重な姿勢を求めていきたいと思います。

次に、以前から、繰り返し議会質問で求めてきた事柄ですが、福祉医療費支給（子育て支援）事業において、昨年10月から通院についても対象年齢を18歳到達年度末までの自己負担分が助成されました。ありがとうございました。

「こどもは宝」と言ってきた、前森市長の大きな実績とも言えるもので、このまま子育て支援策に力を入れる行政姿勢を示し続けることで、尾張旭市は子育て支援に力を入れる姿勢がある。そのようなイメージが定着できるように、取組を続けていただきたいと思います。